

平成29年度 基盤研究（S） 審査結果の所見

研究課題名	多元コンピューテーショナル光計測による手術支援応用
研究代表者	長原 一 (大阪大学・データビリティフロンティア機構・教授) ※平成29年6月末現在
研究期間	平成29年度～平成33年度
コメント	<p>光コム干渉カメラを用いた3次元計測（光干渉断層像、タイム・オブ・フライト法などを複合して利用）により、内視鏡手術支援のための体内臓器形状推定を行う総合的な研究開発である。計測レイヤ、情報（ソフトウェア）レイヤ、応用レイヤそれぞれに適した研究者が配置されている。実現できれば体内の3次元形状を精密に取得できることから、生体医用工学に対する重要な貢献が期待できる。</p> <p>光コム干渉カメラが想定どおり実現されなかった場合の研究計画に対する懸念はあったが、全体として、基盤研究（S）として推進することが適当と判断した。</p>